

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 9 日(2025.7.9)

【国際公開番号】 WO2024/090050
【出願番号】 特願 2024-552866(P2024-552866)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/46(2024.01)

A 6 1 B 6/00(2024.01)

A 6 1 B 6/50(2024.01)

10

【F I】

A 6 1 B 6/46 5 0 6 Z

A 6 1 B 6/00 5 3 3

A 6 1 B 6/00 5 5 0 S

A 6 1 B 6/00 5 6 0

A 6 1 B 6/50 5 1 3

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 4 月 21 日(2025.4.21)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、画像処理装置、方法およびプログラム、並びに学習装置、方法およびプログラムに関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 0

30

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

情報取得部 21 は、撮影装置 1 に被写体 H の撮影を行わせることにより、第 1 および第 2 の放射線検出器 5, 6 から、例えば被写体 H の股間付近の正面像である第 1 の放射線画像 G1 および第 2 の放射線画像 G2 を取得する。第 1 の放射線画像 G1 および第 2 の放射線画像 G2 の取得に際しては、撮影線量、管電圧、放射線源 3 と第 1 および第 2 の放射線検出器 5, 6 の表面との距離である S I D (Source Image receptor Distance)、放射線源 3 と被写体 H の表面との距離である S O D (Source Object Distance)、並びに散乱線除去グリッドの有無などの撮影条件が設定される。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

なお、上記実施形態においては、骨部として大腿骨を用いているが、これに限定されるものではない。例えば椎骨あるいは椎骨のうちの腰椎を対象として椎骨あるいは腰椎の基準位置に対するずれ角および基準位置における骨密度を導出するようにしてもよい。

【手続補正 4】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

また、以下の手法により骨部画像G_bおよび軟部画像G_sを導出してもよい。以下、構造物画像導出の他の実施形態について説明する。情報取得部21が取得する第1および第2放射線画像G₁、G₂には、被写体Hの領域と、放射線が放射線検出器5、6に直接照射することにより得られる直接放射線領域とが含まれる。被写体Hの領域には、軟部領域および骨部領域が含まれる。人体の軟部成分は筋肉、脂肪、血液、および水分を含む。ここでは、血液および水分も含めた非脂肪組織を筋肉として扱うものとする。

10

20

30

40

50